

「令和8年度 CO₂サプライチェーン構築に係る実現可能性調査」 の公募概況

CO₂の回収・利活用に向けた研究会【第1回】

2026年9月17日

資料2-1



昨年度の議論を踏まえ、本年度より2カ年でカーボンリサイクルの実現可能性調査を実施。
公募の結果、2コースで計4件の事業を採択

事業概要と公募結果

公募趣旨

目的

事業期間

公募対象

公募結果

公募概況

採択結果

■ 都内排出CO₂の回収・利活用を促進し、2050年ゼロエミッション東京の実現につなげる

■ CO₂の回収・輸送・利活用を含むサプライチェーン構築の実現可能性を検証し、「東京都モデル」となるカーボンリサイクルの取組を推進する。

令和8-9年度（2カ年）

■ 都内で排出されるCO₂の回収・利活用を進めるため、CO₂サプライチェーン構築に係る実現可能性調査を実施

■ 調査は、以下の2つの事業コースで実施

① 都指定施設（東京二十三区清掃一部事務組合が管理する清掃工場）を排出源とした調査

② 都指定施設以外を排出源とした調査

①都指定施設：採択2件

②都指定施設以外：採択2件

① 都指定施設（清掃工場） 起点

代表事業者名	構成事業者
住友大阪セメント株式会社	岩谷産業株式会社、株式会社オムニア・コンチルト、大成建設株式会社、株式会社タクマ
東京ガス株式会社	株式会社タクマ

② 都指定施設以外の施設起点

代表事業者名	構成事業者
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社	—
株式会社神鋼環境ソリューション	スマートシティ企画株式会社